

分野	住民自治	施策	広報・広聴	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P47

施策の展開（大項目）	1 広報活動の充実					
KPI (指標)	「広報せつでの情報提供に満足している」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	82.3%(令和2年度)	84.7%	85.9%	81.4%	90.0%
KPI (指標)	「市のホームページでの情報提供に満足している」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	60.2%(令和2年度)	61.8%	69.8%	63.4%	70.0%

中項目	1 効果的な情報発信		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
ホームページ事業 広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政との間の情報共有ツールであり、市の情報を網羅する市ホームページの充実を目的に、自治振興課が商工会に委託して立ち上げた「摂津市イベントナビ」を、トップページ下部の関連コンテンツ内に掲載し、利用促進を図った。 ・ホームページについては、視覚的にもわかりやすく、利用者が知りたい情報にアクセスしやすい環境を整えて行く必要があり、他市のホームページ等を参考に、デザインやより良い情報発信の手法について研究した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市内のイベント情報の可視化など、知りたい情報にたどり着きやすいホームページの作成について研究する必要がある。 ・他市状況や、ホームページに対しての意見の蓄積などを分析し、ホームページ自体のリニューアルについても検討していく必要がある。 	
広報事務事業 広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・広報せつについては、引き続き季節感や見栄えの良さ、これまでにないデザインを意識して、表紙の作成に取り組んだ。 ・広報せつの特集ページでは、できる限り写真を多く、市民が楽しむ様子を多く取り入れることで、広報紙を読まない、読むことが少ない人に広報紙を手にとってもらえる紙面構成に努めた。 ・広報板の張替えについては、地域からの要望に応じて、限られた予算の中で老朽化しているものから順に、修繕を行った。 ・LINEの市公式アカウントの拡張機能導入についての検討を行い、セグメント配信及びチャットボット機能の導入に向けた準備を行った。 ・LINEで新たに「上下水の破損情報」と「イベントナビ」をリッチメニューに追加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・広報せつについて、写真を多用し、市民が楽しむ様子を伝えた特集記事は、どれも好評であった。引き続き、過去の慣例にとらわれず、自由な発想で広報紙の作成を行っていく。 ・現在の紙面構成では、情報過多で視覚的に見づらく、わかりやすい情報提供に課題がある。そのため、広報紙の増ページによる余裕をもった記事の配置や、広報紙全体のページ構成等の見直しについて検討する必要がある。 ・多くの広報板で、老朽化が進んでおり、部分的な修繕ではなく、耐久性のある素材の広報板への建て替えなどについても検討していく必要がある。 ・LINEの機能を拡張し、登録者に必要な情報をダイレクトに届けられる環境を整え、市の情報発信力を強化していく。 	

中項目	2 職員の情報発信力の強化		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察		
<p>ホームページ事業 広報課</p>	<p>・初任者向けのホームページ操作研修を実施し、30人(前年度比-7人)が受講した。 ・定期的に発生する各課からの依頼や相談に適宜対応した。また、市ホームページを定期的にパトロールし、募集情報の表記ルールが統一されていない課等に対して、個別に指導を行うなど、市ホームページが統一感のあるものになるよう、各課のホームページ作成のサポートを行った。</p>	<p>・ホームページ操作研修については、ホームページのリニューアル以降、初任者向けの研修を継続している。結果として基本的なホームページ作成の流れについては浸透してきたが、より見栄えのよいホームページを作成するために、作成機能を使いこなした、高度なホームページ作成についても学んでいく必要がある。そのため、応用編として、ホームページ作成経験者向けの研修メニューについても検討していく。 ・引き続き、定期的に実施しているホームページ操作研修等の機を捉え、情報発信の必要性を職員に浸透させていく必要がある。 ・ホームページの作成方法等について、担当課へ個別の指導を行うことで、表記の統一や見やすさを意識したページ作成につなげた。</p>		
<p>広報事務事業 広報課</p>	<p>・広報紙等に記載のイベント情報をもとに担当課に利用を呼び掛けるなどして、各課のイベント情報を、LINEや窓口広告システムで情報発信した。</p>	<p>・引き続き様々な媒体を活用して市の情報発信を行い、市民に必要な情報を届けていく必要がある。</p>		

分野	住民自治	施策	広報・広聴	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P47

施策の展開（大項目）	2 広聴活動・市民相談対応の充実					
KPI (指標)	市民の声に対して解決できた割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	33.3%	26.3%	55.0%	32.1%	40.0%

中項目	1 市民意見の把握		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
市政モニター事務事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回及び第12回市政モニターアンケート調査を実施し、回収率は以下のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■第11回：回収率29.8%/うちWeb回答は32.2% (前回比-3.2%/Web回答+5.1%) 調査項目：1市の取組に対する意識について 2自治会・町会について 3行政に期待する取組について ■第12回：回収率37.2%/うちWeb回答は24.2% (前回比+7.4%/+8.0%) 調査項目：1男女共同参画の意識について 2人権に関する調査について 3自治会・町会について 4行政に期待する取組について ・抽出方法について、居住する校区や年齢層に偏りが生じることもあることから、無造作抽出から校区ごとで抽出する方法に見直しを行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から、統計的に300名程度のサンプルがあると、アンケートの信頼性が向上することから、送付対象者を500名から1,000名に変更する。 	
一般事務事業 政策推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野計画策定に係るパブリックコメントにおいて、意見募集期間等を適切に設定し、計17名から50件の意見をいただいた。 ・政策推進課のホームページで、各課のパブリックコメントの実施状況を一元的に周知し、年度内に318件（前年度比-101件）のアクセスがあった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各課が年間スケジュールを立てる年度当初にパブリックコメントについての周知するとともに、政策推進課のホームページにて一元的に周知を行う。 	

中項目	2 「市民の声」への対応		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
市民相談事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方からの要望、陳情及び苦情の間合せである「市民の声」について、ごみの不法投棄や空地状況の取継等73件（前年度比-42件）に対応し、解決できた割合は32.1%（前年度比-22.9%）であった。 ※令和4年度実績から解決を要しない意見等を除く 		<ul style="list-style-type: none"> ・解決していない案件には、行政事務の範囲外（民間同士の問題）のものもあり、行政指導できないケースが多い。 ・空地について、近隣からの要望という形式で依頼文書を発送していたが、摂津市環境の保全及び創造に関する条例の規定に基づき、環境政策課から行政指導として通知するように運用を変更する。 	